

化学産業技術フォーラム D218

シニアの知見・経験の社会還元
ーケミカルエンジニアリング・カフェの試み

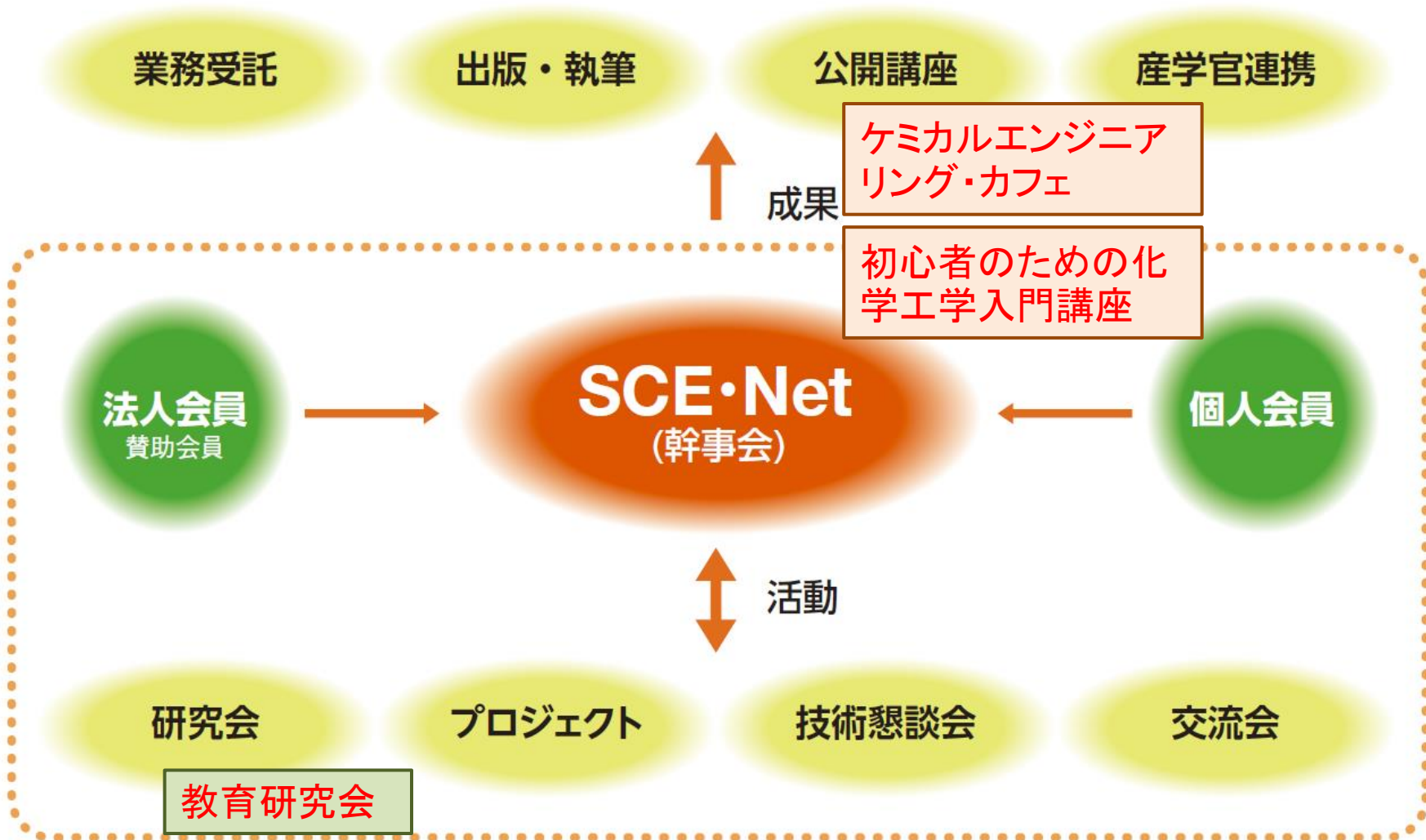
化学工学会SCE・Net

山崎 徹

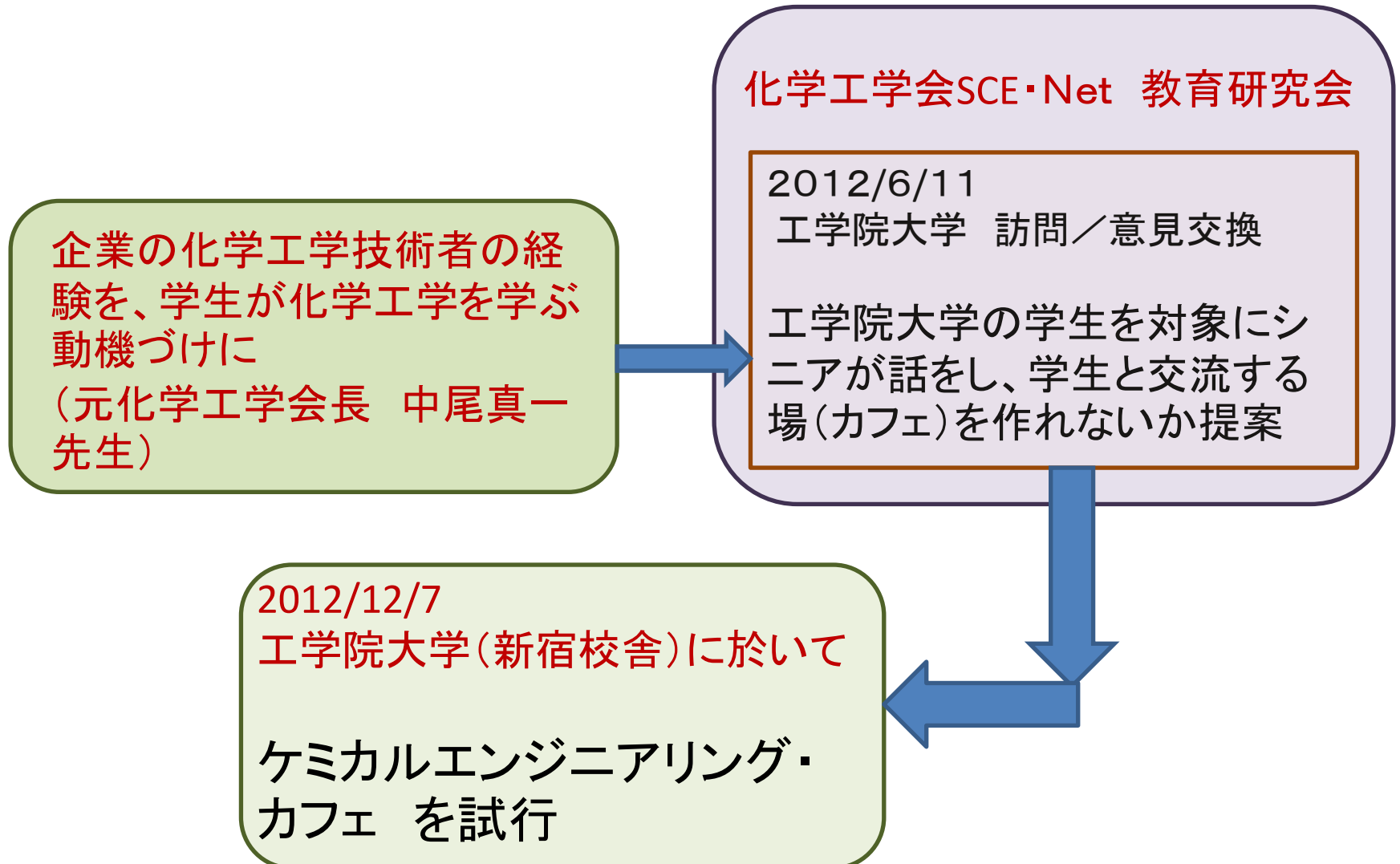
発表の内容

1. SCE・Netの組織と活動
2. ケミカルエンジニアリング・カフェ試行開催までの経緯
3. ケミカルエンジニアリング・カフェの概要
SCE・Netからの参加者、学生からの参加者
4. 講演と学生の評価(アンケート)
5. 懇談会
6. ケミカルエンジニアリングに対する評価
学生からの評価(アンケート)
参加したSCE・Net会員からの評価
7. 今後の進め方

● SCE・Net の組織と活動



ケミカルエンジニアリング・カフェ開催までの経緯



ケミカルエンジニアリング・カフェの概要

- 日時;平成24年(2012年)12月7日(金)
- 参加者;学生15名、SCE・Net;10名
- 目標;学生に対する化学工学を学ぶ動機づけ
- 場所;工学院大学 新宿校舎20階、第6会議室
- プログラム
16時30分～17時30分 講演「私の経験したポリエチレン」 講師;小林浩之
17時45分～19時 懇談会;SCE・Net会員と学生がグループに分かれて交流

SCE・Netからの参加者; 10名

No.	最終学歴	経歴
1	1966.3東大・工・化工(修士)	新日鉄化学(株)取締役技術部長、新日本熱学代表取締役社長
2	1963.3早大・理工・応化	日揮(株)、(株)全日本エンジニアリング社長
3	1966.3東大・工・化工(修士)	三菱化学(株)水島事業所 技術開発センター長、A&Mスチレン(株)副社長
4	1954.3東工大・工・合成化学	千代田化工建設(株)取締役技術開発本部副本部長、名古屋商科大学経営情報学科教授、静大院工学研究科客員教授
5	1953.3東工大・化工(旧制)	日揮(株)企画開発室開発グループMgr.、旭コークス工業(株)取締役開発企画部長
6	1966.3東大・工・化工(修士)	旭硝子(株)、日本ドライケミカル(株)取締役技術部長
7	1962.3中央大・工・工業化学	日本ゼオン(株)、ゼオンエンジニアリング(株)、ゼオンマテリアル(株)
8	1963.3名古屋大・工・応化	三井化学工業(株)、東洋エンジニアリング(株)、不二機械(株)
9	1965.3東大・工・化工(修士)	東レ(株)三島工場医薬品製造部長兼医薬技術部長、三洋化成工業(株)専務取締役生産機能担当
10	1961.3東工大・工・化工(修士)	三菱化成(株)常務取締役水島工場長、三菱樹脂(株)専務取締役、不二フィルター工業(株)取締役副社長

学生からの参加者; 15名

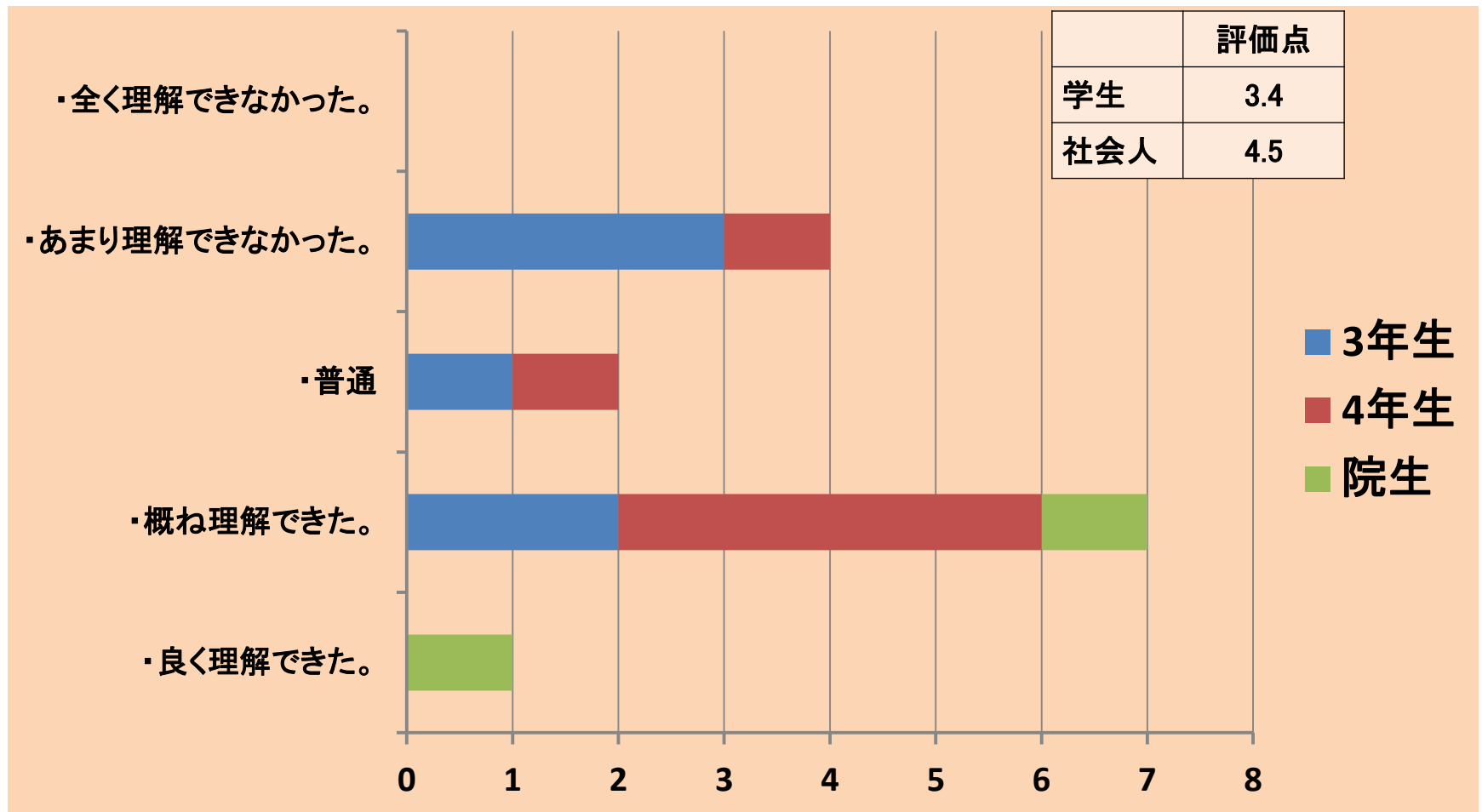
工学院大学

学年	環境エネルギー 化学科	応用化学科
3年	6人	
4年	6人	
修士課程	1人	1人
博士課程		1人

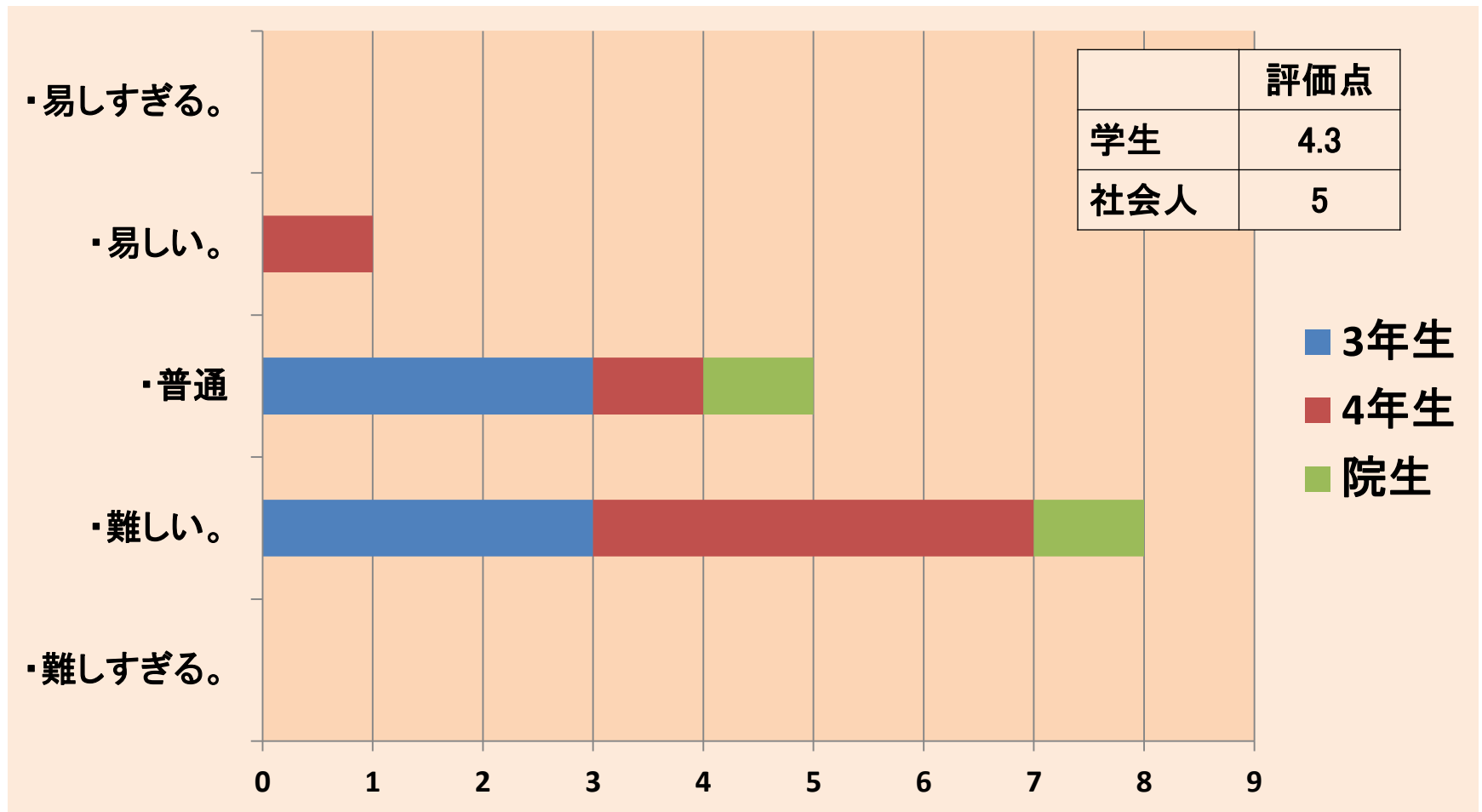
講演；私の経験したポリエチレン

- **講師**；小林浩之氏（SCE・Net代表幹事）
- **内容**；日本における石油化学工業の勃興から、石油ショックを経て構造変革を迫られる化学産業史を踏まえつつ、ポリエチレン素材が生産を開始し、時間とともに遭遇する課題に対処していく流れを論じ、その中で演者の経験とそこから抽出して得られる教訓を伝える。
- **結果**；予定時間をオーバー。シニアが聞いて興味深い講演であったが、学生にはやや難解？アンケートでは半数の学生が内容を理解したと回答。

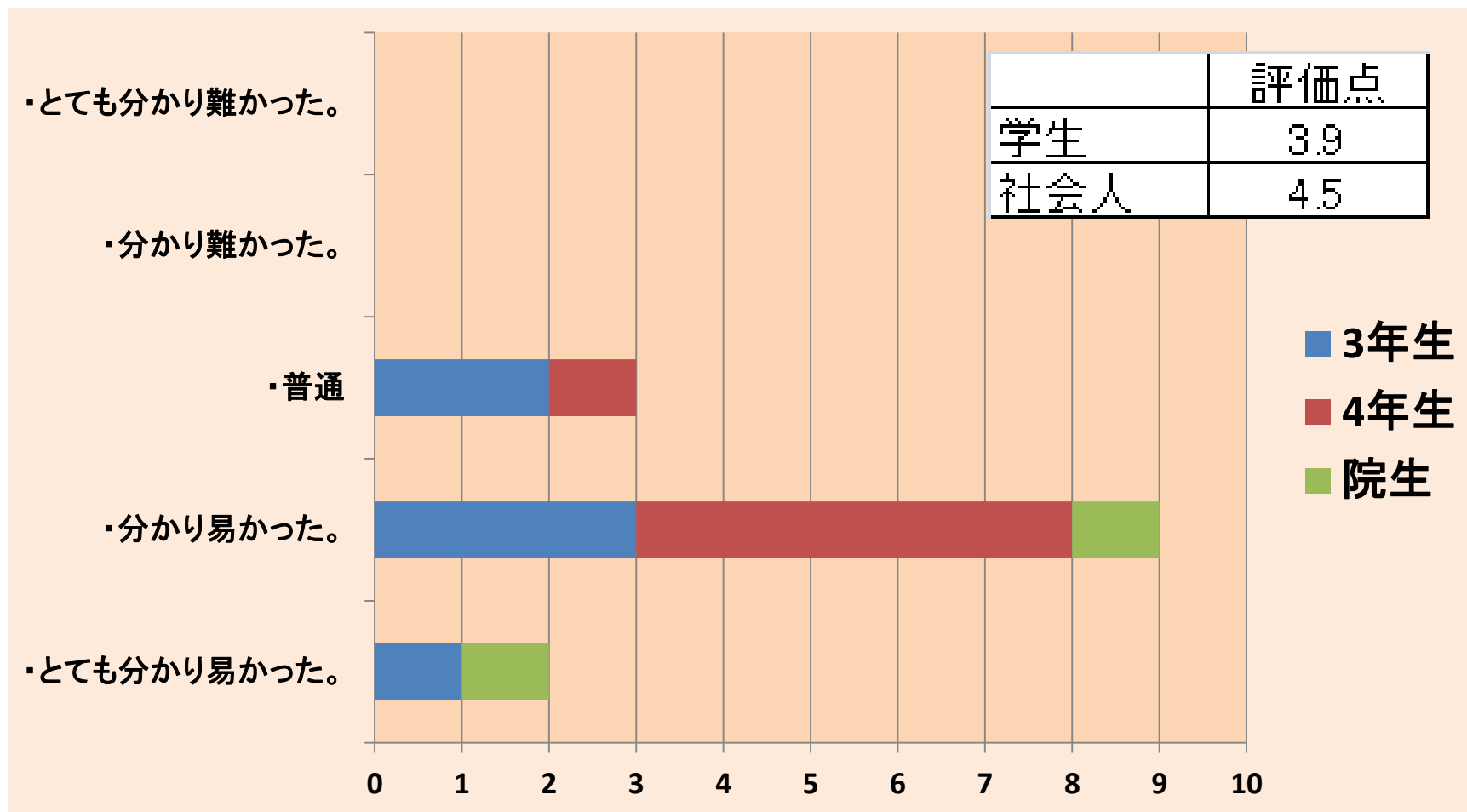
講演に対するアンケート； (1) 講演は理解できましたか？



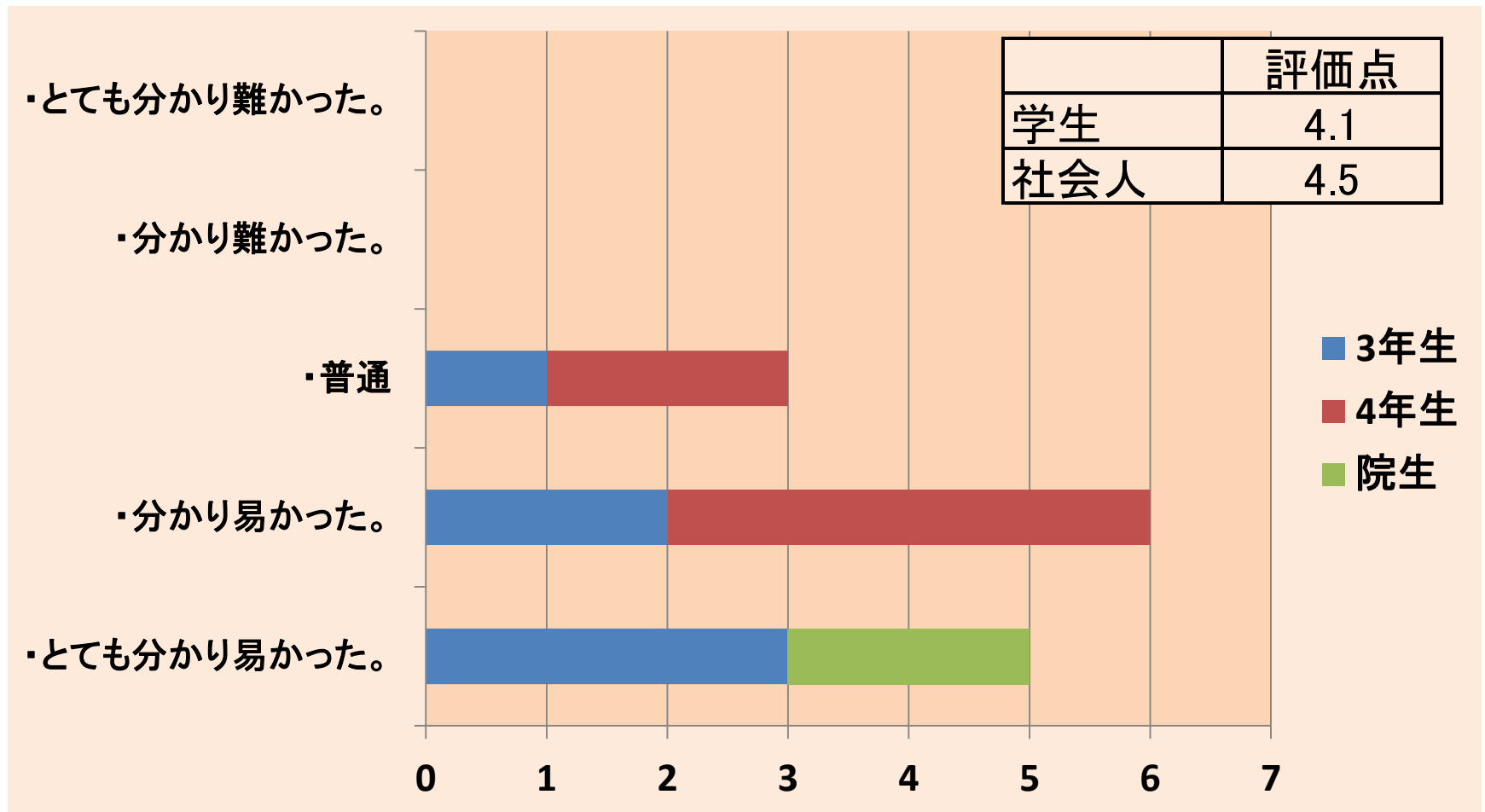
講演に対するアンケート； (2) 講演のレベルはどうでしたか？



講演に対するアンケート； (3) 講師の話は分かり易かったですか？



講演に対するアンケート； (4) 資料は分かり易かったですか？

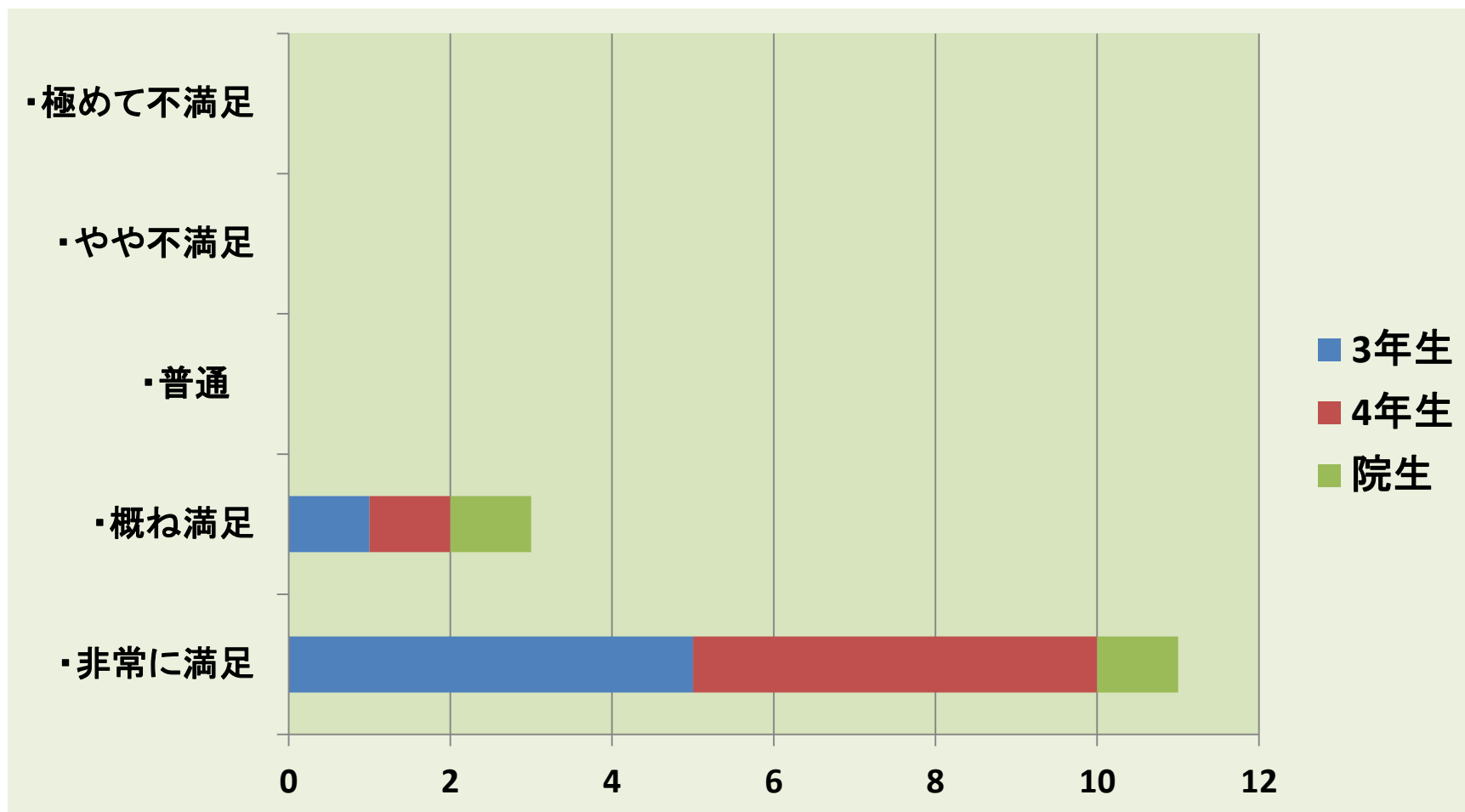


懇談会

- 学生3人とSCE・Net会員2人で1班を構成。
- 飲み物を飲みながらの懇談。
- 最初にSCE・Net会員が簡単に自己紹介を行い、その後、学生の質問に対して答える。
- 予定の時間(1時間15分)は短く感じられた。

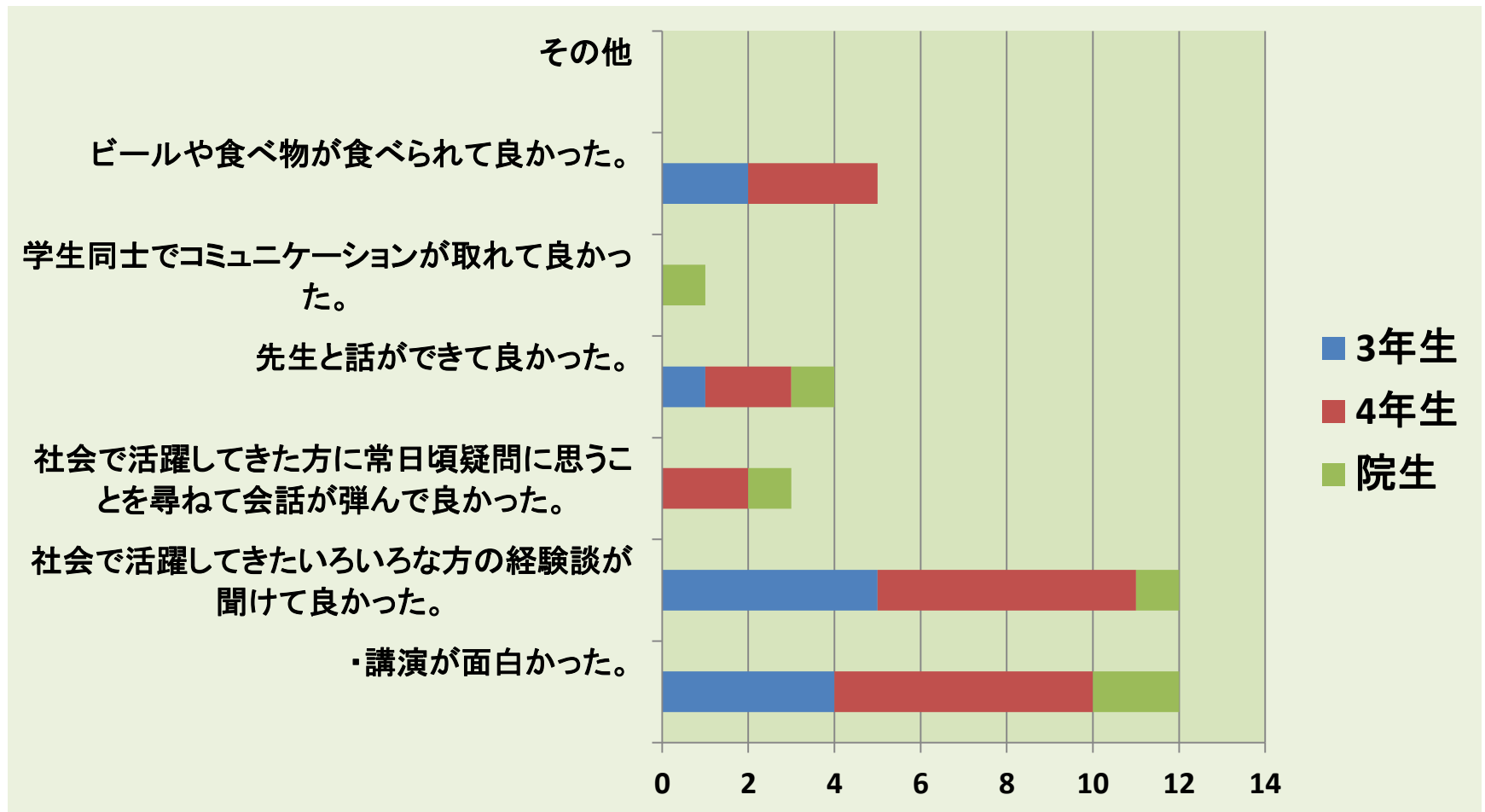
ケミカルエンジニアリング・カフェに対する学生の評価

1. 参加して満足していますか？



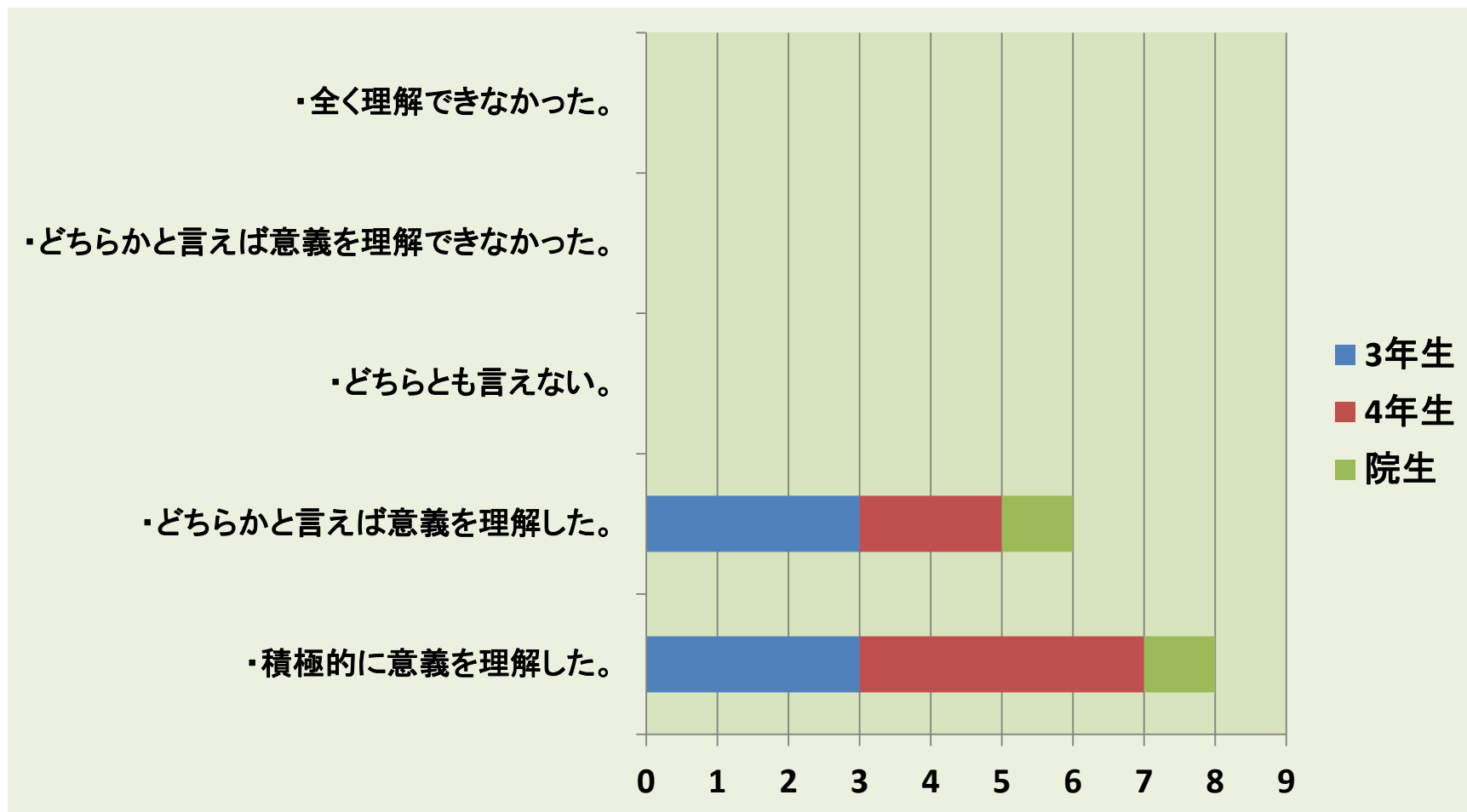
ケミカルエンジニアリング・カフェに対する学生の評価

2.どのような理由で満足と答えましたか？



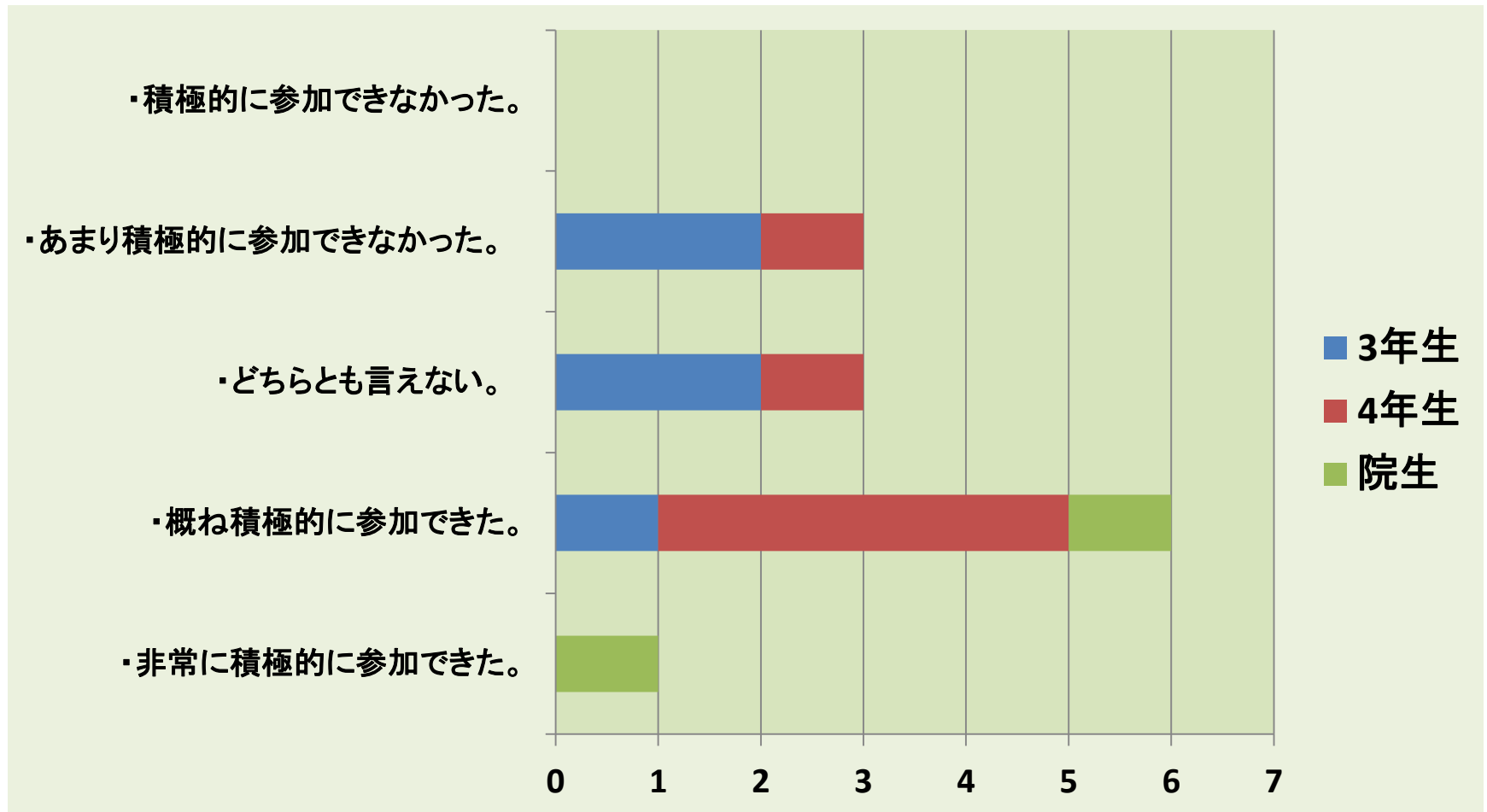
ケミカルエンジニアリング・カフェに対する学生の評価

3. 参加して化学工学を学ぶ意義を理解しましたか？



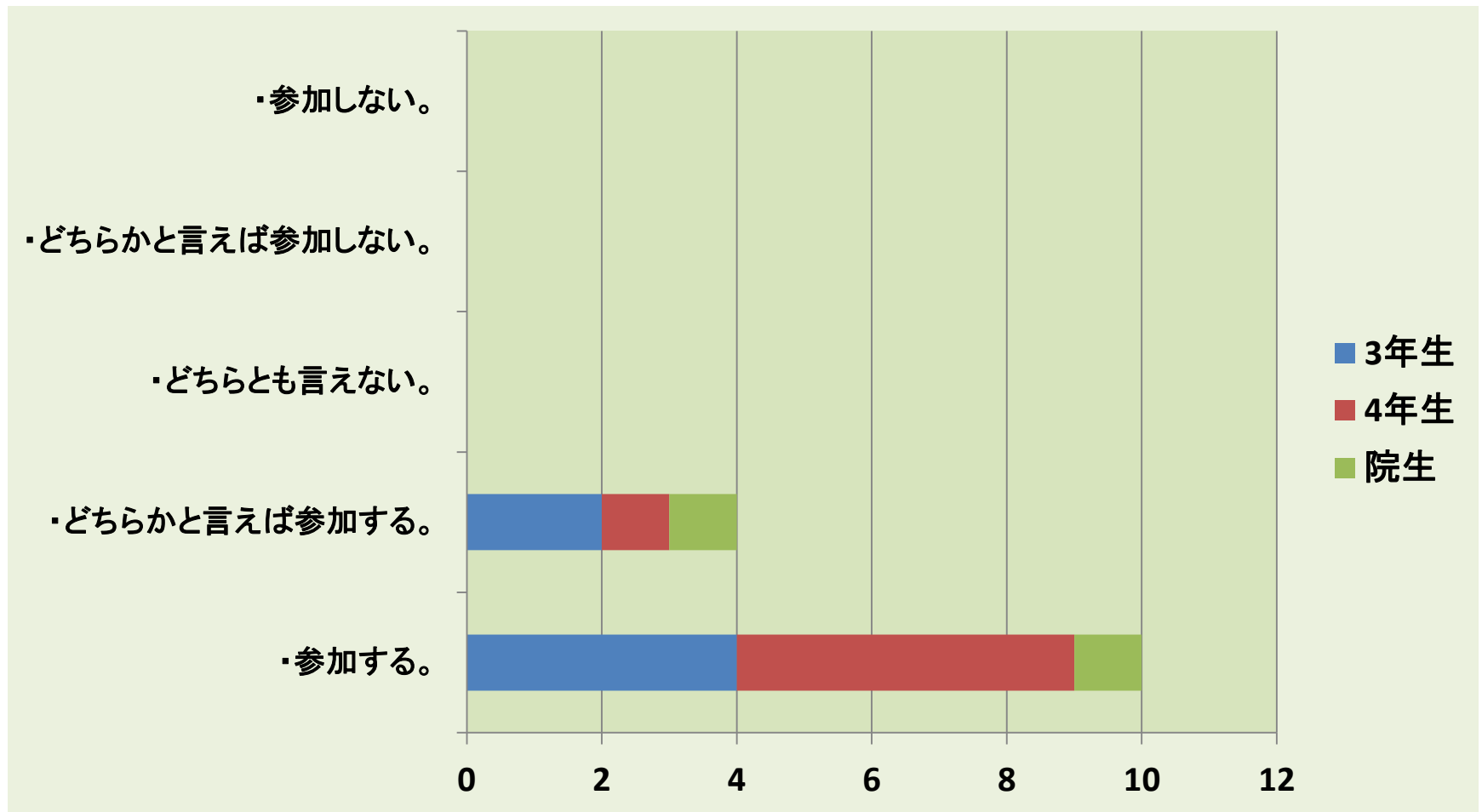
ケミカルエンジニアリング・カフェに対する学生の評価

4. 貴方自身は質問、討論等により懇談会に積極的に参加しましたか？



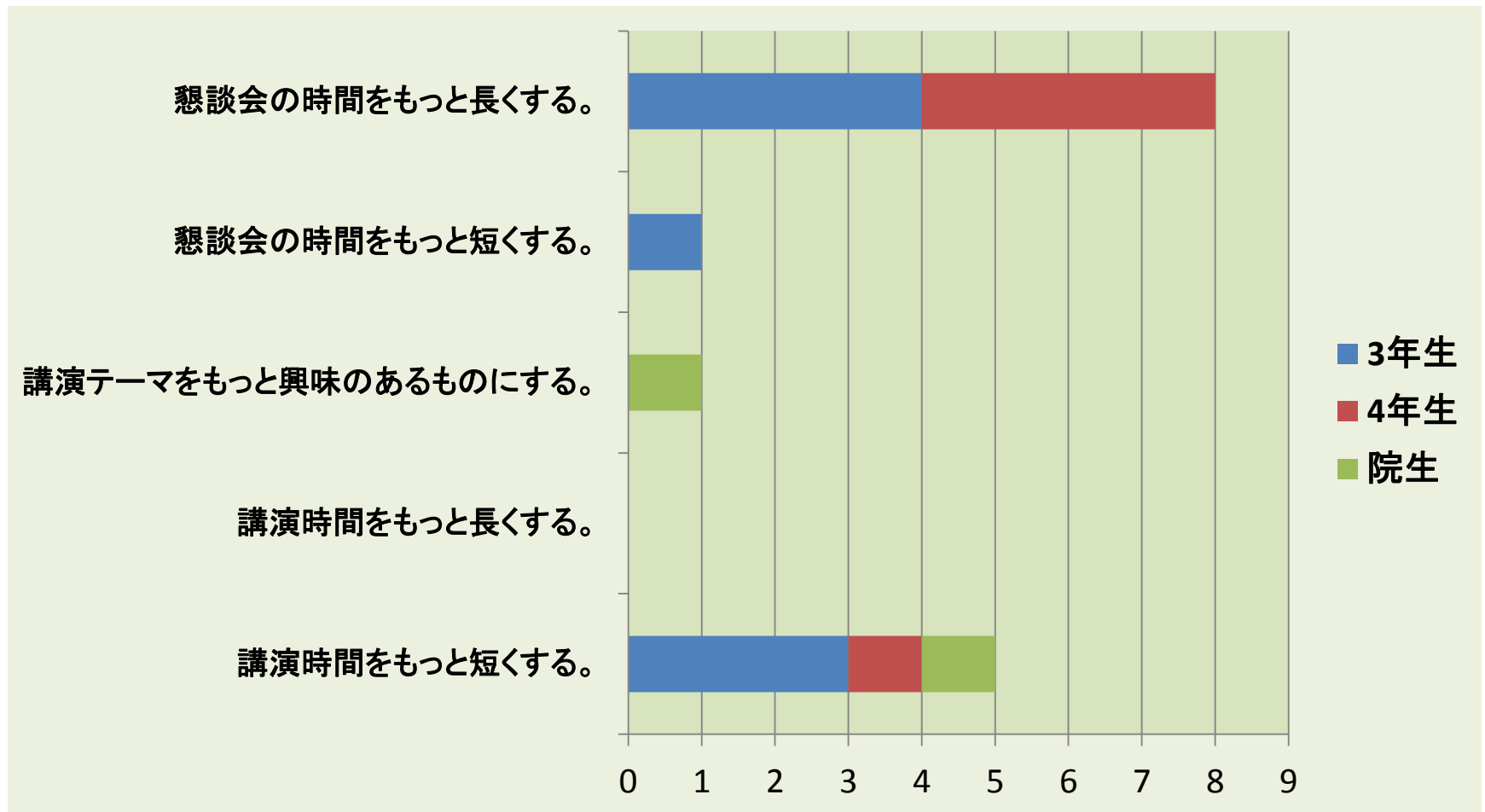
ケミカルエンジニアリング・カフェに対する学生の評価

5. 今後も開催するとしたら参加しますか？



ケミカルエンジニアリング・カフェに対する学生の評価

6. ケミカルエンジニアリング・カフェをもっとよいものにするため何を求めますか？



ケミカルエンジニアリング・カフェに対する学生の評価

7. ケミカルエンジニアリング・カフェをもっとよいものにするための意見など

- 大変勉強させていただきました。3、4年生には話が難しかったかもしれないと思いました。他大学と混合でやったらもっと勉強になるかと思いました。(院生)
- 講演は丁度良かったと思う。懇談会もグループに分かれての少人数で、丁度良かった。(4年)
- 懇談会は沢山の人の話を聞いてみたかったので、もっと長くする。(4年)
- これが現実かと感じた。“もの”というのはつくるだけではなくて、誰かに必要とされて初めて“もの”になると感じた。(3年)
- 講演は概ね広いテーマで丁度良かった。懇談会の方もこれくらいの方が1人1人に発信できて良かった。(院生)
- 講演テーマについて、研究分野によっては話が分からないかもしれない。化学工学一般の話をより増やすとよいかもしれない。(院生)

参加したSCE・Net会員の評価(感想)

講演について

- もっと話題を絞るべきであった(講師本人)。
- サンプルを見せたのは分かり易くて有効。

懇談会について

- 前以って学生が聞きたいテーマを把握し焦点を絞った方がよい。(人生観、生き様、技術経験・失敗談など学生の興味がどこにあるか無視した話になったのでは?)
- 学生の数に比べてシニアの人数が多かった。学生からフランクに聞ける感じにならないのでは?
- 時間が短かった。話し足りなかった。

全般について

- 学生にとって有益と思う(有益になるお膳立ては出来た)。学生がどのように評価したかがポイント。

ケミカルエンジニアリング・カフェ 今後の進め方

- SCE・Netの事業として継続する。
- 学生を集める仕組みを確立する必要がある。
散発的に、個別に集めるのでは大変であり続かない。例えば
 - 関東支部・学生会の事業に組み込む。
 - インターンシップに組み込む。
- 当面は協力いただける大学の学生を対象に
トライアルを行う。

今回のケミカルエンジニアリング・カフェ試行に当たっては、化学工学会から支援をいただきました。お礼を申し上げます。